

長	長	長	事	長	休	議

来客者の対応報告書

告 1 3 4

件 名：チセヌプリスキー場の管理について

来庁日時：平成29年7月6日（木）11：30～12：40

来庁者名：JRTトレーディング

取締役

総務部長

対応者名：町長、総務課長

（佐藤部長）

この度は、すみませんでした。

（町長）

道の方とどういう形になっていたのかなと、新聞報道が先に出してしまうと、印象が良くないので。

頑張っって止めようと思ったんですが、道新にはコネが無くて、記者にもいろいろ言ったんですけど、どんな記事になるんですかと。

もう一人の若い堀田さんの時は、以前チセの譲渡の時は、読んでくれて、こちらから確認することとしてたんですが、今回の支局長は、ぜんぜんそれは言えませんという形で。小さい記事ですよと言っていたら、見たら結構大きく出て。

偏った見方になっているし。

（町長）

新聞報道より、振興局との打ち合わせはどのように進めていたんですか。

5月の頭くらいに、今、北海道にいないんですが、小泉が話をしてまして、夏山の看板設置と草刈りの相談ということで、始まってまして、草刈りに関しては、当初は重機はダメですよということだったんですが、5月の末30日に現場立ち合いしてもらって、ササが背丈以上で太いので、人力では無理でしょうと、重機の使用はOKになったんです。

それから、書類の申請をしに行っています。申請の内容としては草刈りと、振興局が今回言っているのは、これは土地の形状変更ではないかと。草刈りというのは、表面を残す状態ですと。

高橋牧場で、土木工事に入っていた業者に声をかけたらできますよと、岩内のスキー場でもやったことがあると言うので、根を掘らないようにできるということなので、お願いしました。

小泉は、重機で草刈りをしたいと、それもOKもらってますし。

振興局は、どういう重機を使っていますかと、聞かない。

会社側も、この重機（ユンボ）を使わないと、石もたくさんあるし、できないですよと。

(町長)

あれだと、ユンボで掘った状況になっていますよね。

そうなんです。

振興局で、こうやったらダメですと言ってくれれば良かったんですが、ブルとかで押して、踏み固めるのなら良いが、これは、掘ってるからと。

僕たちは初めてなので、わからなかったんです。

小泉の方から報告を受けていまして、振興局が認識していた草刈りと、うちの方の認識と違って、土地の形状変更という認識が無く、スキー場の形にしたいということが先だってしまったって、ササをきれいにすることを。

(町長)

想いと、道の方の許可とくい違っていて、私も見ましたが、地肌が出ているのは、形状を変えてしまったと捉えられたかもしれない。

生活環境課からは、今回は土地の形状変更はありませんかと質問を受けてはいたんですが、具体的に何が土地の形状変更に当たるのか、草刈りはこういう事ですよという通知も無かったようで。

向こうは、小泉に何回も削らないでくださいねと言ったようなんですが、僕には伝わっていなかった。土木会社にもそれを伝えていなくて、仕事が早くて、1日で、結構進んで、上りやすいルートを選んで進んでいるんで、登山道にぶつかっていると思う。

(町長)

くい違いがあったと。

伝達ミスと、小泉の認識が甘かったのと、削らないよねと指示されていたのを、業者には詳しく伝えていなかった。

(町長)

今、振興局からはどうしなさいと言われてるんですか。

許可を受けた時は、道は一切見に来なかったんですが、だれかの通報で、振興局が見に来たのは、作業開始後だったんです。

その場で中止を言われてから、やりとりする中で、一昨日改めて、林務室と環境生活課の課長が来まして、今後の対策と、とりあえず間違った申請をしたのは仕方ないので、削った斜面の対策を急がなければならない、土が川に流れないようにというのを一番気にして、土砂崩れですよね。

ブルーシートを張ってくれと、張ることで土砂が流れないようにすると、それが1番の対策かどうかは道もわからないので、知っている対策としてブルーシー

トと、麓の方は、土嚢を使って河川に流れないようにしてほしいと。

あとは、斜面の緑化ですね、種の種類とかは後で指示すると、緑化が完了した時点でシートをはがすと。

あくまでも応急対応なので、対策については、事業者側からこういう対応をしますと申告してくださいと、その後審査してから、良いかどうか判断しますと。

こちらも、出来る範囲を超えていますので、専門のコンサル等に当たっている調べているところです。科学的に論理づけしないと道の方も納得いかないでしょうし、きちっと専門の方に頼みたいと考えています。

2つの問題があります。このスキー場はしばらく草刈りをしていないので、整備しようとしてここまでやってしまっていて申し訳ない。

説明して、これからどうしますかと、ブルーシートを張って下さいと、こちらは、それでは緑がすぐ戻ってきませんよと、土砂崩れ、専門家じゃないですが。

(町長)

ササの根は、全部とったの。

下の方、私が見た限りはでは、根があちこちにある感じです。上の方は、無いところもあるのかな。

(町長)

一番気にしているのは、雨が降ると斜面だから土砂が、泥水として流れてくる、やっぱりそこは抑えないとならない。

強い雨だと、土の下まで浸透しないで、上を走るんで、泥水が流れてくるから、土砂崩れというよりは、泥水を懸念しているで。

振興局は、土砂崩れもなってからじゃ遅いのでと言うので、専門家の日本ケーブルに相談してます。

今後いずれスキー場となる開発というところで、昨年も日本ケーブルさんから見積もり等ももらっているつながりもあるし、ドーコンという大きなコンサルとも、詳しい方との連絡待ちなので、環境調査の会社にも問い合わせしています。

(町長)

まずは、やった業者に土嚢も含めて、応急措置は早くやってもらった方がいいと思う。

麻袋はあるだろうから、早急に、会社としてやりましたという誠意を見せることが大事だろうし。

道から借りているから、こういう風になってしまったんだから、従わないと先に進めないから、最低限度のことはやるべきだし、ほかの事は、調べてもらって最善の方法でやると。スキー場の形状を変えるのは、今後できるだろうし。

遠い業者に改めて頼むと、お金もかかるし、土嚢はどこにでもあるから。言われたように応急措置をやると、重りにもなるから、シートの上に載せれば杭を打

たなくてもいいし。

土嚢の袋も天然素材じゃなければいけないとか言われるかもしれないので、確認しながら進めます。

(町長)

記事は出てしまったんだから、仕方ないし、誠意を見せないで。

無許可でという見出しはどうかと思う。

(町長)

道の方も悪い対応ではないんでしょう。

そうです。何らかの処分を言うこともできるんですが、そういうのも無く、遑って申請してもらうことにはなるけれども、いろいろ協力はしますから、頑張ってやってくださいと。

(町長)

私としても、振興局に行ったときは、きちっと誠意をもって対応してくれということも含めて、迷惑をかけて申し訳なかったと、同じ蘭越でやってるものですから、振興局に話はしますから対応はきちっとやってほしい。

道庁の、土壌汚染対策法というのがありまして、一定規模以上の形状変更、3,000㎡を超える場合は、届け出が必要で、それもなされていなかったということで、結果的に形状変更になったんですが、本来であれば、30日前に申請しなければならぬんですが、出ていないので、そちらも遑って、必要な書類を出してくれと言われてます。

(町長)

処罰するなら、すぐできるんだろうから。

言われてました。行政処分もできるんだけど、遑ってと。

(町長)

書類も、なるべく早く用意して出すようにしてほしい。書き方がわからなければ、教えてくれるだろうから。

削った部分は、測量頼んで面積を図るように言われています。

森林室からは、何点か指摘されていて、ブルーシートが完璧ではないとか

(町長)

岩内の業者がそばにいるなら、シートと土嚢を頼めば、概算で金額を出してもらって、だれか頼むよりは良いのでは。

現場の職人にもちょっと責任はあるんじゃないかと思う、早く終えるために。

1日でするんですよ、土嚢も作って、今週できると思う。

緑がほしいとなると、いつになるかわからない。振興局は、ブルーシートをはがして、種まいて、太陽の出る時に出す、又、雨降るときに張ってくださいと。

(町長)

芝がいいのかわからないが、日本ケーブルに相談するのは適切と思う。

残っているササを切らないと、シートも張れないんで時間が必要。

もうひとつ言われているのが、登山道が壊されていると記事になっているんですが、コースの真ん中にジグザグになっているんですが、利用されている人からの苦情もあったんでしょうが、登山道がわかりやすいように看板(矢印)を付けるように言われています。

今、看板も作成しています。これで今年は終わってしまうと思います。又、来年考え直します。

ササを機械で刈るだけでは危ないと思います。登山の人たち勝手に入っていますから、転んだりすると刺さってしまいます。だから、根を取りたかった。自己責任といっても、最後は会社の責任になってしまう。

ちょっと気になったのが、覚書で、ぜひ夏山の登山客を歓迎してくださいと、その時は、夏場はあんまり考えていなかったんで詳しく協議しなかったんですが、安全管理十分取って下さいと、山菜取りや登山については当面蘭越が実施していた同等の対応を行う事と、当時確認していないので曖昧なんですけど、蘭越が実施していたのは、何もしていなかったですよ、自然のまま。

(町長)

山菜取りの規制はしないで、採らせてほしいと。

登山道の整備も何もしていないですよ。

(町長)

歩いてみて、崩れていたりしたら整備はしていました。

人が歩くから、それなりに道はついたままでしょうし、当面というのほどのくらいなのかなとか、リフトを付けるとなると、芝とかにするとその時に協議することになるのかなと。町は、索道の管理事業者ではないですよ。

(町長)

今は、索道の管理事業者ではない。リフトを付けるとなると、索道事業者の登録はしなければならない。

私のイメージでは、チセヌプリ、夏でも秋でも、オールシーズン自由に山に登

ったり、山菜を採ったりできる4コースとして作りたかった。

今のままでは、危ないので。

(町長)

中の形状を変えるのは、道有林との協議も必要だし、会社としてこうしたいというのには出来ないわけじゃないから。

覚書に書いてあったので、4者(会社、保証人、道、蘭越町)で交わしている
ので、また、そういう場面になれば協議が必要かなど。

工事の間は、登山道に入れなくなりますよとか。

とりあえず今、削ってしまった登山道があるので、その対応をしなければなら
ないと。

報道後、振興局からは、さらに言われていることが多くて、何メートル先に付
けてくれと。

自然公園事業で、北海道が整備するということはないんですか。

(町長)

北海道が、登山道として指定しているわけじゃないからじゃないですね。

副町長から、何か言われてました。

ちょっと、間違ったねと、もっと、詳しく相談すればよかったねと。

小泉の方でしたんでしょうけど、もしかしたら小泉の方でもいけるかなと思っ
たのかもしれない。

初めての事なので、彼もわからなかったと思いますよ。良い勉強になりました。

向こうからも提案もないし、初心者ですから。確認に来てやってほしかった。
通報があって、出向いてきたと。

(町長)

時間が経過すれば戻ることだから、要求されたことは早急に対応していくと。
これを教訓として協議していけば、振興局も教えてくれるから。

安全管理とか経済効果を考えて早急にスキー場に戻せたら言うのが頭にある
んです。雪上車は、あくまでもそこまでの代替で、1人何万円もする雪上車でな
くて、今まで蘭越町が経営されていたようなリフトをつけてスキー場にするとい
うことが、契約時に約束してますけど、5ヶ年計画の予定で。

(町長)

行政は、法律で動いているから、そこを逸脱してしまうとダメだと言わざる得
ないから、だけど、まだ行政処分をくだしていないわけだから、事前に出して、
修復してくださいと言っている間は、処分となればもっと大変になるから。

悪質で、最初からそういうことではないということは、振興局も理解している
と思うから、最低限度やってくださいよと言ってるんですから。

■
今後は、逐一3者で話し合っ、立ち会っ、やっていかなければ、又、間違ったら困るから。

町に、クレームも入っているでしょうね。

(町長)

色々な人がいますから。ただし、行政も、簡単に処分を出すことはできますが、やることによってどういう影響が出るか、その人の生活もあるし、悪気があってやったんじゃない部分では、行政処分をしない判断を振興局の方でしてくれたと思った方がいいですよ。

■
本当に申し訳ないです。蘭越町にも問い合わせが来てるでしょうし。

■
もう一度作り直して。いい関係を作らないと、協力できなかつたら、もう潰れたくないんですよ、お金があまりない会社なものですから。

失敗すると、潰れてしまうので、よく考えて。

■
保証人の方でバックアップしてくれているんで。

■
ログを改築等の計画もありますし、申請してから、今年の冬という考えも。ただ、電気もない水もない状況なので、これからですが。色を変えるにしても、相談しながら進めていきたい。

■
少しずつ、自然を大切にしながら開発する予定でしたから。

(町長)

自然展示館の施設の利用も、前向きに考えてくれてありがたいと思っているし、議会にも話してありますし。

やり方によって、利用価値があるのなら、使ってもらえるように協議を進めていきたい。

■
そうですね、その話もありますし。まずは、今の状況を片づけるのが最初ですが。

(総務課長)

■
雪上車のキャタピラの撤去等して良いですか。当初、何かに使うということで。

■
硫黄の影響でもう使えないので、処理してほしい。橋の部分もできれば取ってほしい。できなければ、こちらで検討してもよいが、お願いしたい。

裏のところにもまだ、あるが、とりあえずはキャタピラと残骸をお願いしたい。

(総務課長)

■
橋の部分は検討させてください。また、協議しながら。

■
今まで蘭越町が運営されていた状態で、リフトが動くというのが町民の願いな

んですかね。自然のまま、タケノコを採ったりとか。

コース整備しないままの状態が。

(町長)

昔は、いくらかささを刈っていたんですよ。

夏でも、リフトを動かしたいと思っていて、マウンテンバイクとかを。

だけど、こんなに難しいのなら。

海外では、夏山を利用するのは主流なので。

そういうことを、どれだけ望んでいる人がいるのかは、わからないですけどね。

自然のままが良いと思う人が蘭越では多いんだろうなど。

リフトを直すなら道路が必要。

あんなに、岩だらけのところをどうやってリフトをつけたんですか。

(町長)

昔は、作業道路があったんで。

その当時の情報はないですか。

(町長)

今、うちの運転手が、チセのリフトの運行管理をしていたので、わかると思う。

1回、話をしてみれば参考になりますから。

話を聞いて、状況はわかりましたので、言われている部分は努力して復旧するようにしてください。

うちの方からも、再度、聞くこともあるかと思うんですが、途中経過も含めて、連絡するようにしてください。